大気環境学会誌投稿カード

2022年3月10日版

行頭の□をクリックし（☑に変わります），必要事項を記入のうえ，ファイルを保存して提出ください。

**<原稿の確認>**

|  |  |
| --- | --- |
| 種類 | アイテムを選択してください。 |
| 題名 |  |
| 著者 |  |

**<利益相反>**

本論文は [（個人または団体名）] と [（相反の内容）] について利益相反の関係にある。

本論文はいかなる個人・団体とも利益相反の関係にない。

**<査読委員の選定>**

本論文の査読委員として，以下の方（3名まで）を推薦する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属機関 | 連絡先（メール） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

本論文の査読委員として，以下の方の除外を希望する。

　 [　　　　　　]，[　　　　　　]，[　　　　　　]，[　　　　　　]，[　　　　　　]

**<審査区分の確認>**

本研究論文の主著者は博士号未取得者であり，学生・若手研究者論文としての審査を希望する。なお，指導教員もしくは指導的立場の共著者は [　　　　　　]である。

**<再投稿の扱い>**

本研究論文は，[ 年 月 日] に投稿した原論文 [論文番号 　-　　] を改訂したものであるが，原論文とは別の担当編集委員，査読委員による審査を希望する（新規投稿として扱われます）。

**<投稿>**

最新の投稿規程と投稿の手引を参照した。

原稿作成テンプレ－ト、投稿カードは最新のものを用いた。

速報とする理由書を用意した（速報の場合のみ）。

投稿について全著者の承諾を得た。

刷り上がりページ数（投稿規程 表1参照）を確認した。

（<http://www.jsae-net.org/magazine/Print_Image_20160203.dotx>をご利用ください）。

**<要旨>**

字数を確認した（投稿規程 表1参照）

英文要旨は、本文とは独立に理解できるよう、和文要旨と対応しつつ具体的かつ簡潔にまとめた。

キーワードは6個以内であり、英語で英文要旨の下段に書いた。

**<本文>**

副詞、代名詞、接続詞、助動詞、助詞はかな書きとした（原則。ただし混在は不可）。

本文中の見出しは、1. 諸言、2. 実験、3. 結果、4. 考察などとし、中見出しは1.1、1.2、・・・、などとポイントシステムで書いた。

ローマ字は半角活字体（Times New Roman）を用いた。

読点は、日本語本文中では全角“、”を用い、英語本文中、著者（和・英とも）およびReferenceでは“, ”（半角カンマ + 半角スペース）を用いた（原則。ただし混在は不可）。

**<図・表・写真>**

図、表、写真の表題および説明文は英語（原則）で記述し、最後にピリオドを付した。

図中および表中のフォントは本文に準じた。

表には枠線を用いていない（可能な限り）。

**<単位・記号>**

投稿の手引の表1にあるSI単位を用いた（原則。ただし混在は不可）。

SO2、NOx、PM2.5など、化学記号の下付き文字を正しく記した。

数値と単位の間に半角スペースを入れた。

**<引用文献>**

引用文献の表示方法は、投稿の手引およびテンプレートに記載されている方法に正しく従った。

引用文献の最後にピリオドを付した。

以上